

キョクトウニュース

第22回日本臨床脳神経外科学会

7/21 日 市民公開講座開催!

会場：岡山コンベンションセンター 3 階
コンベンションホール



開場 14:00

14:30 ~ 15:30

講演「サイバニクスで拓く医療・福祉の未来」

山海 嘉之 先生

筑波大学システム情報系教授

サイバニクス研究センター研究統括

CYBERDYNE (株) 代表取締役社長 / CEO

15:30 ~ 17:00

講演「二度とやってこない一瞬一瞬を

精一杯いきること」

有森 裕子 先生

元マラソン選手

バルセロナ五輪銀メダリスト / アトランタ五輪銅メダリスト

事前のお申込みをお願いします

086-276-3231 (代表)

担当：岡山旭東病院
企画広報室



脳・神経・運動器疾患の総合的専門病院
臨床研修指定病院（協力型）

脳神経外科、整形外科、脳神経内科、リハビリテーション科、
内科、循環器内科、麻酔科、放射線科、リウマチ科、形成外科、
泌尿器科、健康センター、脳卒中センター、サイバーナイフセンター、
PET・RI センター

〒703-8265 岡山県岡山市中区倉田 567-1

Tel. 086-276-3231 Fax. 086-274-1028

http://www.kyokuto.or.jp



7~9月 催しのご案内

参加無料 (☆以外)

7/16 (火) 14:00~15:00 第108回転倒予防健康教室

24 (水) 13:30~14:00 糖尿病教室 (2階会議室あさがお)

14:00~15:00 花音ピアノコンサート

31 (水) 14:00~15:00 医療・福祉・介護教室
「在宅医療・介護のすすめ」

8/14 (水) 14:00~15:00 ヴァイオリンコンサート

20 (火) 14:00~15:00 第109回転倒予防健康教室

22 (木) 13:00~15:30 病院見学ツアー (キッズデー)
対象：小学生 (保護者同伴)

28 (水) 13:30~14:00 糖尿病教室 (2階会議室あさがお)

31 (土) 14:00~16:00 第33回パーキンソン病健康教室
(開場 13:30) 場所：岡山コンベンションセンター1階イベントホール

9/ 8 (日) 13:00~16:00 おかやまあかい はな道化教室

10 (火) 11:00~12:00 朗読会 ☆参加費 3,000円

17 (火) 14:00~15:00 第110回転倒予防健康教室

20 (金) 14:00~15:00 クラリネット・ソプラノ・ピアノコンサート

25 (水) 13:30~14:00 糖尿病教室 (2階会議室あさがお)

※詳細は院内掲示およびホームページをご覧ください

感染症の流行状況により、上記催しが中止になる可能性もございます。
催しに参加される際は事前にご確認のうえ、お越しください。

コンサート以外へのご参加は 事前に申込みをお願いします 申込み 086-276-3231 (代表)
企画広報室

病院統計 (2018年1月~12月)

外来患者延数	85,418人	紹介率	55.4%
入院患者延数	65,407人	逆紹介率	90.0%
新入院患者数	4,348人	救急患者搬入件数	1,919件
退院患者数	4,353人	脳神経外科手術件数	232件
平均在院日数	12.7日	整形外科手術件数	1,726 件

診療時間 午前 9:00~12:00 (8:30受付開始)

午後 14:30~16:00

	月	火	水	木	金	土
午前	○	○	○	○	○	○
午後	○	○	○	△	○	△

休 診 木曜午後 / 土曜午後 / 日曜 / 祝日
(但し、急患はこの限りではありません)

あとがき

脳腫瘍は少ない病気です。しかし、当院には多くの患者さんが訪れます。「脳腫瘍って何だろう?」を特集として、関心をもっていただければ幸いです。

院長 土井章弘

愛

広報誌「愛」夏号

vol. 71
第173号

●自分自身の健康管理 医療人の第一歩 (医療安全推進標語)
●当院では、病気に関連して起きる様々な問題について医療ソーシャルワーカーが相談に応じています。相談は本館1階医療福祉相談課まで

●敷地内禁煙実施施設

岡山旭東病院 季刊誌

愛

2019.7
夏号
vol. 71

特集

脳腫瘍ってどんな病気?
~ 気づく・セルフチェック ~



Model: 左から津野医師(脳神経外科)・田辺さん(看護師)
中村さん(メディカルクラーク)

Photographer: Yosuke Noritsugu

キラリ☆元気さん

診療部 整形外科 主任医長

江草 真

そこが知りたい

4月1日~泌尿器科開始!

知っ得情報

転倒予防健康教室がリニューアルしました!!

経営理念
一、安心して、生命をゆだねられる病院
一、快適な、人間味のある温かい医療と療養環境を備えた病院
一、他の医療機関・福祉施設と共に良い医療を支える病院
一、職員ひとりひとりが幸せで、やりがいのある病院

ライフサプリ

おしっこの悩みを持つ方へ

きょうとう連携のわ

岡山脳神経内科クリニック

キョクトウニュース

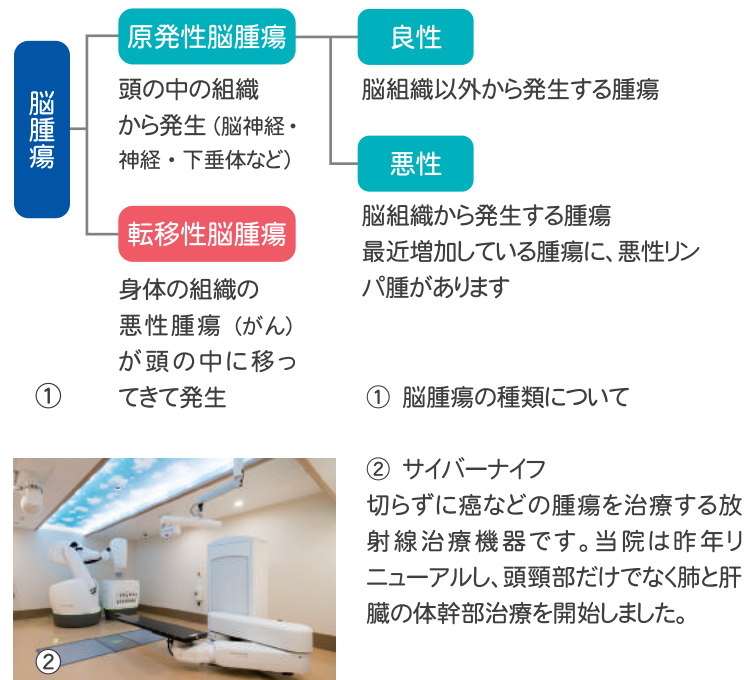
7/21 (日) 市民公開講座開催!

特集「脳腫瘍ってどんな病気？」

～ 気づく・セルフチェック ～

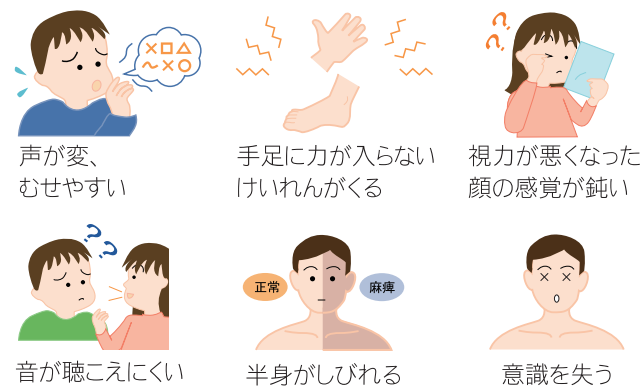
脳腫瘍とは頭の中にできる、できものの全てをさします。頭の中の組織から発生するものを「原発性脳腫瘍」、肺がん、大腸がんなど体の組織の悪性腫瘍が頭の中に移ってきて発生するものを「転移性脳腫瘍」と呼びます。

原発性脳腫瘍の内、脳組織から発生する腫瘍は悪性、脳組織以外から発生する腫瘍は良性と考えられます。しかし、脳腫瘍は頭蓋内にできることから、良性であっても大きくなれば、脳・神経の症状だけでなく、頭痛や嘔吐などの症状をきたすため、臨床的に悪性と考えられます。



脳腫瘍の前触れ

脳腫瘍の特徴的な症状は、頭痛・嘔吐・眼底の視神経乳頭のうっ血（うっ血乳頭）による視力異常の3つで、わかりやすい症状は頭痛と嘔吐です。そのほかにも、脳は身体の司令を出す神経がたくさんあるため、腫瘍ができる部分によって、様々な症状が現れます。



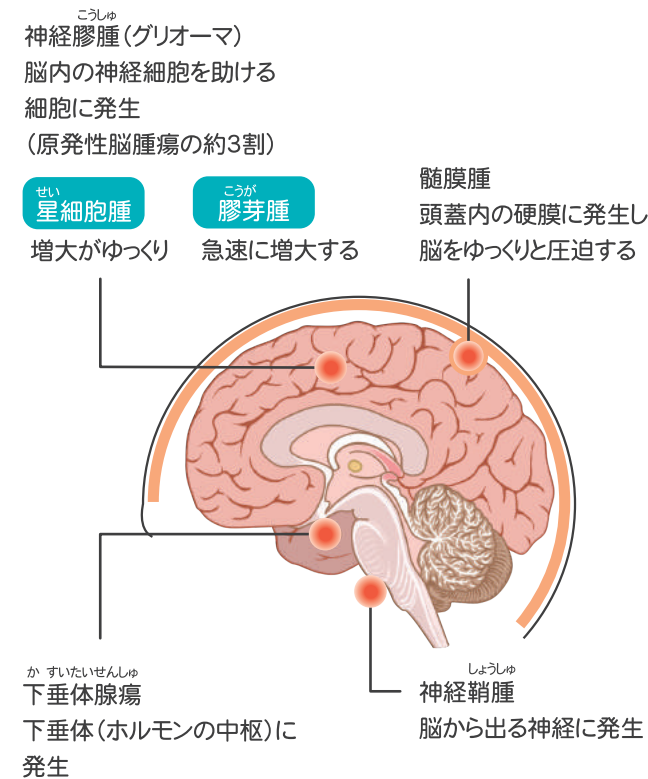
脳腫瘍チェックシート

- ☐ 臭いがわからない
- ☐ 視力が悪くなった、物が2重に見える
- ☐ 顔の感覚が鈍くなった、顔がゆがむ
- ☐ 音が聞こえにくい
- ☐ 声が枯れた
- ☐ むせやすくなった
- ☐ 手足に力が入りにくい
- ☐ 半身がしびれる
- ☐ 気を失う
- ☐ 手足にけいれんがくる

チェックがある方は、必ずしも脳腫瘍とはかぎりませんが、医療機関で精密検査をおすすめします。

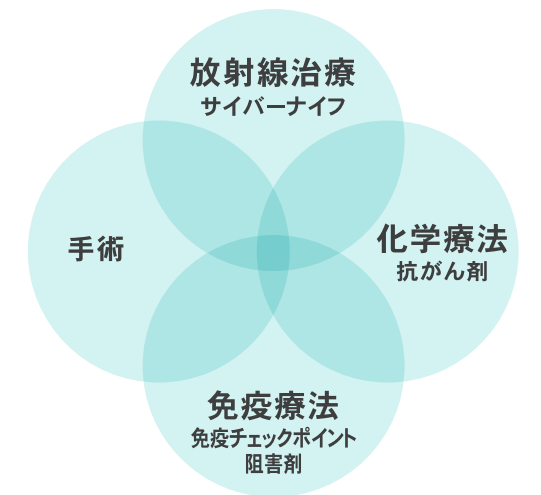
脳腫瘍の種類

悪性度も含めて細かく分類すると、非常にたくさんあり覚えきれませんが、代表的な腫瘍を紹介します。

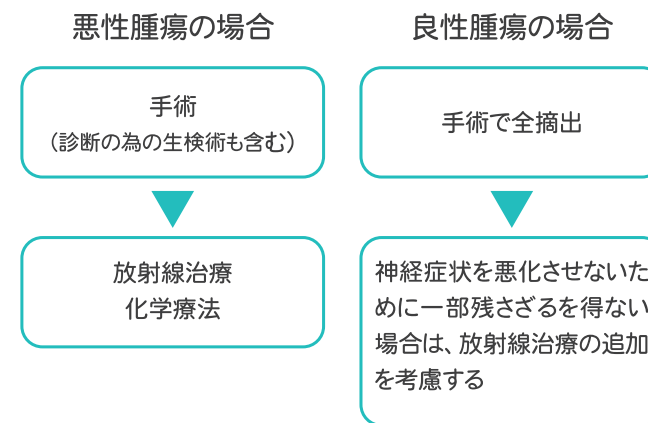


治療方法

人体にできた腫瘍に対する治療法は、手術・放射線治療・化学療法（抗がん剤）の3つが大きな柱です。とれる腫瘍はできるだけとり、残った腫瘍に対して放射線や薬を使い、治癒を目指します。最近では、免疫療法が4番目の柱となり、さらに遺伝子治療などが研究されています。



治療の流れ



全身状態の問題で、手術がおこないきれない患者さんや高齢の方、画像診断・血液検査で診断がつく方は、手術はおこなわずに放射線治療・化学療法をおこなうこともあります。

治療の後は、その腫瘍に応じた必要な間隔で、定期的に画像検査（MRI、CTなど）などをおこなうことが大切です。

再発や経過について

不幸にも腫瘍が再発した場合、再手術を考慮します。場合によっては、手術をおこなわずに放射線治療であるサイバーナイフ治療や、薬を変更して化学療法をおこないます。治療にともなう副作用が、治療効果を上回ることが予想される場合には、痛みを減らしたり苦しみを予防・和らげる緩和治療をおこないます。

脳腫瘍の種類、悪性度、年齢、全身状態などでその後の経過や余命が異なります。良性腫瘍であれば、寿命が全うできることも多いです。



診療部
整形外科 主任医長

えぐさ まこと
江草 真

研修から2年ぶりに帰院した江草先生に、研修の様子や専門領域、治療方法についてお話を伺いました！

Q 専門領域はなんですか？

A 肩・肘関節の研修を目的として、2018年に国内留学（千葉県船橋市の船橋整形外科病院）し、数千例に及ぶ外来、および数百例の手術に携わりました。その経験をもとに、主に肩・肘の痛みを診察しています。



Q 患者さん、ご家族へのメッセージ

A 肩・肘の問題のほとんどは、正確な診断と治療によって改善します。痛みが薬や湿布で治らないとあきらめている方、動かしたときの痛み、夜間の痛みが続いていて困っている方も、是非一度ご受診ください。

Q 四十肩・五十肩の痛みについて

A 自然に改善する病気ですが、四十肩・五十肩と診断されていても、肩^{かたけんばんだんれつ}腱板断裂を伴っている場合には痛みが改善せず、続きます。また、長年痛みが続き、手をあげられない方や治療をあきらめていた方でも、2014年から「リバーズ型肩人工関節置換術」による新しい治療法で改善した方もおられるので、是非ご相談ください。

Q どんな診断、治療をおこなっていますか？

A まず診察で肩の状態をチェックし、画像検査（レントゲン、CT、MRI）にて肩・肘の構造が壊れていないかチェックします。当院では同日中に画像検査ができるので、症状の診断が可能です。ほとんどの肩・肘の問題は、注射、薬、専門療法士によるリハビリにて改善します。改善が困難な構造的問題に対しては、「鏡視下肩・肘関節手術（肩に数か所、穴をあけてする手術）」にて改善できます。

そこが知りたい

4月1日～

泌尿器科開始！

4月から泌尿器科の診療を開始しました。毎週火曜日、午前・午後に入江伸医師が診察をおこなっています。主な疾患は前立腺肥大症、過活動膀胱、腎・膀胱・前立腺がん、尿路結石症、膀胱炎などです。

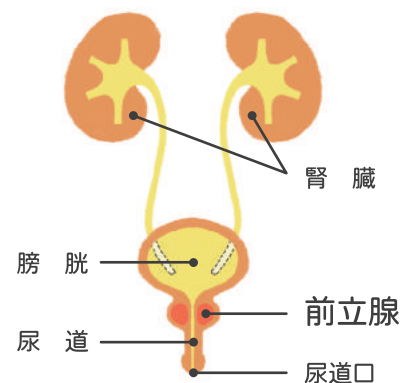
最近増加の著しい前立腺がんについて

泌尿器科系のがんの中でも、前立腺がん患者は急速に増加しており、男性のがんの中では、発生率1位になる日も近いといわれています。

前立腺がんは、腫瘍マーカー（PSA）があり、PSA検査（採血）で疑いがあれば段階的に検査をおこなって、診断をつけていきます。

他の部位のがんと同じで、症状が出る前に発見する方が経過も良いため、男性は50歳になれば一度PSA検査を受けましょう。その値を参考にして、1～2年に1回の頻度でPSA検査を継続していれば、急に進行した前立腺がんが見つかるということはまずありません。

前立腺の場所



PSA 基準値

※ PSA検査において、血液内のPSA値が基準値を超えていた場合、がんの確定診断のため続けて精密検査（生体検査）がおこないます。

日本泌尿器学会推奨の PSA 基準値

全年齢について	0.0 ～ 4.0ng/mL
または	
64 歳以下	0.0 ～ 3.0ng/mL
65 ～ 69 歳	0.0 ～ 3.5ng/mL
70 歳以上	0.0 ～ 4.0ng/mL

※日本泌尿器科学会（編）：前立腺がん健診ガイドライン（2010 年増補版）、金原出版（東京）、p6-10 を参考にして作成

知っ得情報

転倒予防健康教室がリニューアルしました！！

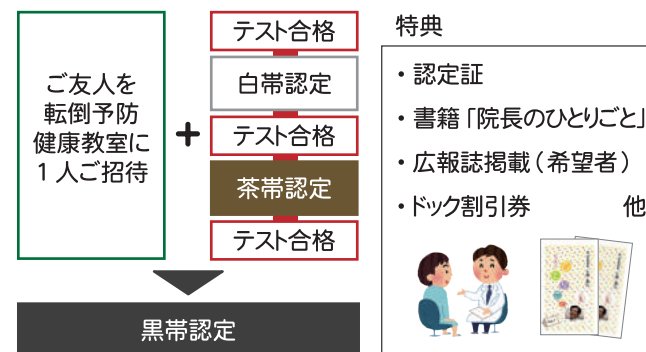
毎月第3火曜日に開催している転倒予防健康教室の内容をリニューアルしました。

今年度からは、毎月テーマに合わせた体操や筋トレといった転倒防止に役立つ運動を中心におこないます。また、毎回体力測定を実施し、年度末には個々に測定結果・1年を通しての評価をお伝えする予定です。無料で、どなたでもご参加いただけます。

日時：毎月第3火曜日 場所：パッチ・アダムスホール
申込み
院内の申込み用紙または電話にてお申し込みください。
担当：企画広報室

転倒予防サポーター認定を始めました

転倒予防に対する正しい知識を持ち、自分はもちろん、周りの人の健康も支援できる「転倒予防サポーター」の認定を転倒予防健康教室内で始めました。白帯、茶帯、黒帯と順に昇格し、各帯にはそれぞれ特典もあります。あなたも、転倒予防の達人になって、大切な人や地域の健康を守りましょう！





症状について

排尿（おっこ）の悩みは大きくわけて2つあります。

排尿障害 …… 尿が出にくい、尿がつまる

蓄尿障害 …… 尿が近い、尿がこぼれる

症状は重なることもあるため、まず診断が大切です。それぞれの代表的な疾患である、前立腺肥大症と過活動膀胱について説明します。

代表的な疾患

前立腺肥大症

排尿障害。
男性のみ。
50歳以上で増加し、
がんとの鑑別が重要。

診察

症状スコア記載
エコー、PSA検査（採血）
がんとの鑑別（MRI撮影）

治療方法

アルファブロッカー
前立腺の過剰な収縮を抑制

PDE-5 阻害薬
血流の改善

5α-リダクターゼ阻害薬
前立腺を縮小

手術方法

内視鏡手術（TUR-P）
尿道から前立腺を削り
取る・くり抜く

過活動膀胱

蓄尿障害。
男女ともにみられる。
頻尿と尿意切迫感（我慢できない尿意）が症状。

診察

症状スコア記載
エコー、検尿
他の疾患を否定

治療方法

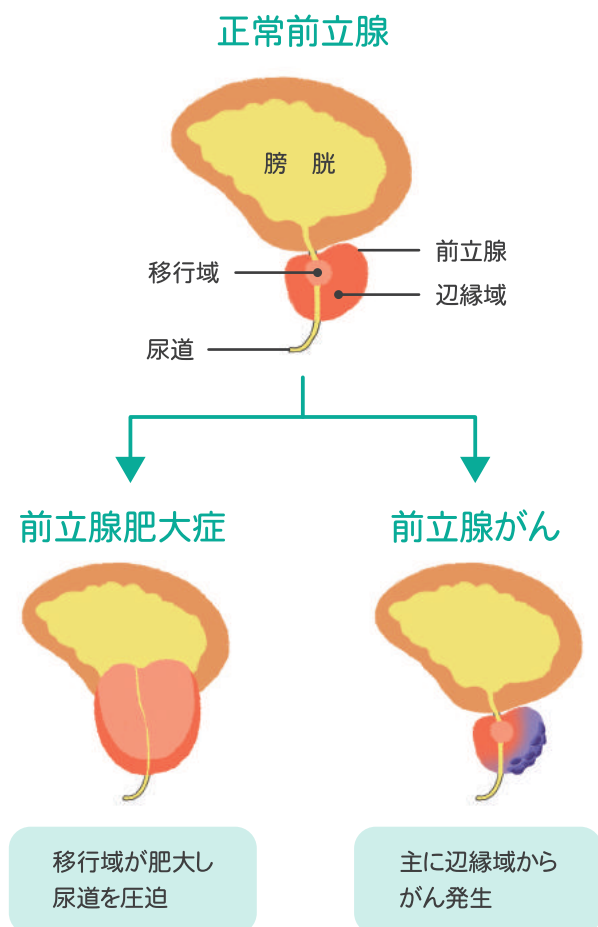
行動療法
適量の水分摂取など

抗コリン剤
膀胱の異常な収縮を抑制

β3 作動薬
膀胱の筋肉をゆるめる



前立腺肥大症と前立腺がんの違い



前立腺肥大症は尿道を圧迫するので、早めに排尿困難や頻尿、残尿感などの症状が出やすいです。しかし、前立腺がんは辺縁域から発生するため、症状が出にくい、進行してから症状が出るということが問題です。そのため、PSA検査による発見が大切です。

前立腺肥大症の内視鏡手術

先端に電気メスがついた内視鏡を尿道に挿入して、前立腺を尿道から削り取る手術です。腰椎麻酔（下半身麻酔）でおこなうのが一般的で、手術が終わっても3～4日間は尿道カテーテルを入れておきます。全部で7～10日程度の入院が必要となります。



施設の特徴

脳神経内科と一般内科領域の病気を診療するクリニックです。

脳神経内科は、その名の通り、脳・脊髄や手足の神経・筋を障害する病気を診療する科です。具体的には脳梗塞、認知症、パーキンソン病、脊髄小脳変性症、筋萎縮性側索硬化症、多発性硬化症、重症筋無力症、てんかん、自律神経障害、多発性神経炎、頭痛、めまい、しびれなど、認知、運動、知覚などを障害する多くの疾患、症候が含まれます。当院では主に頭痛、認知症、パーキンソン病、てんかんなどを診断、治療します。また、脳梗塞や認知症の背景となる高血圧症、高脂血症、糖尿病など、一般内科疾患も必要に応じて診療します。

これまで大学病院や地域の病院で長年培ってきた診療経験を活かし、地域の皆さまの健康にお役に立てるように努めてまいります。健康に関することなら、どうぞお気軽にご相談ください。



診療科目 脳神経内科・内科

診療時間 午前 9:00～12:30
午後 14:00～17:00

	月	火	水	木	金	土
午前	○	○	○	○	○	○
午後	○	○	○	△	○	△

休診 木・土曜午後 / 日曜 / 祝日

〒702-8005 岡山市中区江崎104番地-16

☎ 086-230-1015

<http://www.okayama-ncl.com/>



◆公共交通機関をご利用の場合

岡山駅・天満屋より

- ①岡電バス 岡山ふれあいセンター・新岡山港線・三幡南行き「新道江崎」を下車 徒歩10分
- ②両備バス 沖元西大寺線「江崎」を下車 徒歩4分
駐車場 7～8台